

シリーズ ⑤⑥

我が家の家庭教育

篠原 小川 朱美

情緒豊かな子どもに

我家は、一月に四歳になる長女と今年八月に生まれた長男を囲む七人家族です。家庭教育という立派なしつけは何もしてないので普段、感じていることをお話ししたいと思います。我家では祖父、父母

の三人が勤めにでているので、子どもは二人とおばあちゃんに見てもらっています。毎日忙しくしていると子どもと話をするのも、落ちついてできず、本当に話したい事や大切な事を忘れてしまうので、最近は朝、早めに起きて話をしたり、絵本を読んであげたりする時間をもつようにしました。幸いにも、子どもたちは早起きで、六時には起きてきます。家族が多いと、一つの事に対して皆が別々の違う事を言うので、子どもは迷ってしまうのではと思ってきました

したが、実際は子ども自身は何が正しいのかをしつかりと見極めていきます。そして、純粹な心で大人を見ているので、



けんかや争い事をととても嫌います。今まで子どもを育ててみて、子どもは教えられて伸びるのではなく、大人の姿から自分で学んでいくように感じています。大人でも強制で教えられることは楽しくありません。いろいろなものを学びたい。挑戦したいという気持ち育ててあげる為には叱ることは最少限にして、子ども自身で考えたことを認めたいと思えます。

以前に、子どもを叱る時はその子が他人や社会に迷惑をかける行動をした時、その子自身の身体に危険を及ぼす行動をとった時、自分よりも弱いものや年上のものを用いた時、バカにした時の三つだと教えられましたが、日常の生活の中では、ともすると自分の都合で叱ってしまいます。そうすると、子どもは何で叱られたのか、納得できません。一般的に何でも適当にこなす子どもよりも、その子にしかない魅力や感性をもった情緒豊かな子どもに育ってほしいと願っています。

ひかりまちの風土記 ⑪

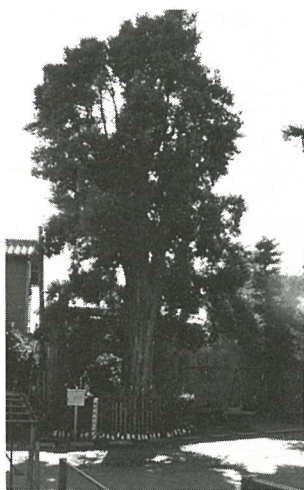


万福寺の椎の木

光町の天然記念物



新善光寺の榎の木



椎名彰氏宅 いぬ榎

昭和四十七年六月に新井万福寺の椎の木、篠原新善光寺の榎の木、椎名彰氏宅(橋場)いぬ榎の三本が町の天然記念物に指定されています。いずれも推定樹齢五百年を超える大樹です。

新善光寺の榎の木には、その昔、弘法大師がこの地を訪れた時に持っていた榎の数珠から発芽したものだといわれています。秋には長円形の実を付けますが、この実には針穴の模様が見えるそうです。

シニアソフトボールチーム
メンバー募集

町内にお住まいの満年齢45歳以上で健康に自信があり、スポーツ活動に意欲のある方ご参加ください。

問い合わせ・申し込みは

町民会館 ☎⑧4-1358へ